

(代表質問)

質問日	令和6年6月4日（火）			質問方式	分割方式		
質問順位	1	会派名	自由民主党浜松	議席番号	29	氏名	平野 岳子
表 題	質 問 内 容						答弁者の職名
1 持続可能な浜松の未来について	現行の総合計画基本計画（平成27年度～令和6年度）は今年度で終期を迎える。本市では令和7年度から10年間の新たな基本計画を策定中であるが、市長の市政運営の理念や方針が盛り込まれたものとなる。 市長が掲げる「浜松から地方創生」を実現し、持続可能な浜松の未来に向けた、次期基本計画に対する市長の思いや意気込みを伺う。						中野市長
2 コミュニティ担当職員が伴走する「連携・共創のプラットフォーム」構築について	1月の区再編により本市の行政区は3区となり、区内のさらなるコミュニティづくりを醸成するには、協働センター・ふれあいセンターのコミュニティ担当職員がいかに実践力を発揮されるかが大きい。伴走してプロジェクトに取り組むことで、市民や職員の達成感ややりがいを高め、新たな「連携・共創のプラットフォーム」の構築により、独自で魅力ある地域となると考えるが、市長の考えを伺う。						中野市長
3 こども・子育て施策の未来について	今年度は、「第2期浜松市子ども・若者支援プラン」（令和2年～令和6年度）の最終年である。次の5年を見据え「（仮称）浜松市こども計画」を策定中であるが、こどもまんなか社会を実現していくためにも、これまで実施してきたこども政策における成果と課題について、今後どのように活かしていくのか市長の見解を伺う。						中野市長
4 若者を活かしたまちづくりについて	中心市街地の活性化には若い力が必要であり、若者を活かしたまちづくりが重要と考えるが、常葉大学の街中への移転を契機に、市はどのように対応していくか考えを伺う。						中野市長
5 少子高齢化・人口減少時代の公共交通政策の在り方について	(1) 地域公共交通を安定的に提供していくためには、官民が連携し、福祉・観光などの分野とも連携しながら地域全体の在り方を考えることが重要であると思うが、まちづくりの観点から地域公共交通をどのように考えているのか、市長の見解を伺う。 (2) 高齢者の外出支援として、住民主体の支援サービスを実施している地区社協の「移動支援」についての認識と、本市の将来を見据えた考えを伺う。						中野市長 小松健康福祉部長

※二重線は、分割方式を選択した場合の分割箇所を示すものです。

表 題	質 問 内 容	答弁者の職名
6 デジタルを活用したまちづくりについて	(1) 本市のデジタルを活用したまちづくりについて、市長の见解を伺う。 (2) 市民の利便性向上と周知については、絶えず検証が必要である。デジタルの活用により、市民の利便性が向上した具体的な取組とその効果について伺う。	中野市長 水谷デジタル・スマートシティ推進部長
7 災害に強い道路ネットワークについて	東名高速道路及び新東名高速道路を結ぶ本市の道路ネットワーク上の重要な道路について、以下伺う。 (1) 主要地方道浜松環状線及び主要地方道天竜浜松線の重要性和整備状況について伺う。 (2) 主要地方道浜松環状線と遠州鉄道との交差部の事業化について伺う。	中野市長
8 災害対策の充実について	能登半島地震における教訓として、以下伺う。 (1) 本市の中山間地域における被災後の早期通行確保について、どのように考えているのか伺う。 (2) 本市でも自主避難が発生すると予想されるが、どのように把握し、どのように物資を配分するか伺う。 (3) 非常食などの災害備蓄の管理をDX化し、平常時の在庫把握や災害時の配布先への配分調整や物資管理を含めたシステムが必要と考えるが、本市の见解を伺う。	平井土木部長 石田危機管理監 〃
9 外国人材の活躍と本市の対応について	(1) 少子高齢化が深刻化する我が国においては、労働力確保の手段として外国人材の受け入れの重要性が増している。本市における外国人材の受け入れについて、市長の考えを伺う。 (2) 令和6年度当初予算の新規事業としてインド・ミッション事業が盛り込まれている。市長はインドとの連携により、どのような成果を期待しているのか。今年3月にインド人学生が市長を表敬訪問した際の感想を踏まえて伺う。 (3) 市長が期待されるインドとの連携の成果に結びつけるため、今年度のインド・ミッション事業の具体的な取組内容について伺う。 (4) 本市に暮らす外国人への就労と生活サポートの現状と今後について见解を伺う。	中野市長 〃 北嶋産業部長 〃
10 多目的ドーム型スタジアム建設に関する今後について	(1) 静岡県との話し合いの進捗状況と、今後の進め方を伺う。また、本市として、多目的ドーム型スタジアムを要望する方針に変わりはないか伺う。 (2) 四ツ池公園運動施設については、今年9月に構想を出すというが、再整備の考え方を伺う。また、県に	中野市長

表 題	質 問 内 容	答弁者の職名
	おける多目的ドーム型スタジアムの検討が四ツ池公園の再整備に与える影響について伺う。	
11 農業施策について	(1) 「食料・農業・農村基本法」改正案における対応について、以下伺う。 ア 「農産物の輸出の促進」(第22条)が新設されている。本市において、具体的にどのような輸出促進施策を講じていくのか伺う。 イ 「農業生産の基盤の整備及び保全」(第29条)に「気候の変動その他の要因による災害の防止又は軽減」が追加され、「農村の総合的な振興」(第43条)に「防災」が明記されたところである。本市における、農村の防災対策について伺う。 (2) 食育と学校給食について、以下伺う。 ア 学校給食における国産食材や地場産物について、市民にどのように周知しているのか。また、さらなる国産食材、特に地場産物の学校給食への利用、有機農産物の活用について、どのように取り組んでいくのか伺う。 イ 学校給食における郷土料理・浜松パワーフードに関する取組の現状と方向性について伺う。	清水農林水産 担当部長 奥家学校教育 部長
12 浜松市職員クレド（行動規範）と人事考課の連動について	今年4月から職員の行動規範として、「職員クレド」の早期導入が行われた。 浜松市職員の行動規範である職員クレドに沿った人材を育成するために、職員クレドの項目と人事考課を連動させる必要があると考えるが、見解を伺う。	田中総務部長